

科目名	図学	英語科目名	Descriptive Geometry
開講年度・学期	平成21年度・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科1年
授業形態	講義+演習	必修 or 選択	必修
単位数	2単位	単位種類	履修
担当教員	豊川斎赫	居室（もしくは所属）	建築棟2階
電話		E-mail	toyokawa-s@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
1. 遠近法の論理的な組立てを、数学的、哲学的、美術史的、光学的に理解し、立体的な感覚を身につける。			
2. 単純な図形からやや複雑な建築物まで立体的に描く手法を理解し、スピーディかつ美しく描くことが出来る。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
前期の授業では、講義を中心に行う。			
後期の授業では、作図・実技を中心に行う。			
評価方法			
評価は下記2項目の平均によって行う。(テストは一切無し)			
1. 出席 (30%)			
2. レポート (70%)			
授業内容			
1. イントロダクション：図学の来歴			
2. 遠近法（1）：アルベルティ『絵画論』（円錐の裁断）			
3. 遠近法（2）：アルベルティ『絵画論』（無限遠点）			
4. 遠近法（3）：アルベルティ『絵画論』（射影幾何学、デザルグ）			
5. 遠近法（4）：アルベルティ『絵画論』（代数幾何学、三点消失）			
6. 遠近法（5）：アルベルティ『絵画論』（ストーリーア、ブランカッチ礼拝堂）			
7. 遠近法（6）：ピエロ・デラ・フランチェスカ『遠近法論』			
8. 遠近法（7）：パノフスキー『象徴形式としての遠近法』（古代の視角補正）			
9. 遠近法（8）：パノフスキー『象徴形式としての遠近法』（中世絵画のイコノロジー）			
10. 遠近法（9）：パノフスキー『象徴形式としての遠近法』（中世絵画の軸測図）			
11. 遠近法（10）：ブルネレスキの光学的遠近法の説明			
12. 遠近法（11）：ブルネレスキの光学的遠近法の実践			
13. 正投影演習（1）			
14. 正投影演習（2）			
15. 正投影演習（3）			
1. イントロダクション			
2. 遠近法演習（1）：正確な作図			
3. 遠近法演習（2）：影と素材の描き分け			
4. 遠近法演習（3）：影と素材の描き分け			
5. 軸測図演習（1）：正確な作図			
6. 軸測図演習（2）：影と素材の描き分け			
7. 軸測図演習（3）：影と素材の描き分け			
8. 軸測図演習（4）：影と素材の描き分け			
9. 軸測図演習（5）：影と素材の描き分け			
10. 軸測図演習（6）：影と素材の描き分け			
11. 正投影演習（4）：正確な作図			
12. 正投影演習（5）：正確な作図			
13. 正投影演習（6）：影と素材の描き分け			
14. 正投影演習（7）：影と素材の描き分け			
15. 正投影演習（8）：影と素材の描き分け			
キーワード	遠近法、軸測図、正投影		
教科書	山田由紀子『建築とデザインのための図形科学』、豊川斎赫『図学講義』		
参考書			
小山高専の教育方針①～⑥との対応	②		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
(A-1) 科学や工学の基本原則や法則を身につける。			
(E-1) 外国の文化や価値観を知って国際性を身につける。			
JABEE 基準1の(1)との関係	d(2-c)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	建築製図 I		
現学年の関連科目			
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
・特に無し			
シラバス作成年月日	2008. 3. 31		